※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１０

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版 新編 言語文化(数研出版社)						
副教材							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・始まりのチャイムの前に、教科書、ノート等を机上に準備しましょう。
・授業中は担当者の指示や説明をよく聞いて、積極的に授業に参加しましょう。
・提出物や課題は必ず期限を守り提出をしましょう。
・読書を通して人間の幅をひろげ、自分の生き方のヒントをつかんで下さい。

2　学習の到達目標

- 主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、言語文化に対する理解を深めることができる。
- 論理的に考える力や共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを正しく伝えることができる。
- 生涯にわたって読書に親しみ、言語感覚を磨くことにより、言葉を通じて社会生活の充実を図る態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

点観	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４．活動の内容

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	詩歌を味わう ［教材］ 短歌	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]：内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に読み取ることができる。 〔 書 〕：感想文を書く。自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫している。 c：言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直そうとしている。〞	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート
	古文編 古文に親しむ ［教材］ 古文への招待 いろは歌	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 〔 書 〕：感想文を書く。自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫している。 c：文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート
	古文編 古文の世界に親しむ ［教材］ 児のそら寝 （宇治拾遺物語）	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c：古文を読むことに興味をもち、積極的に読みに慣れようとしている。登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。	行動の観察 ノート	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート
二学期	現代文編 物語を受け継ぐ ［教材］ 羅生門 （芥川龍之介） 参考『今昔物語集』 巻第二九第一八	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動を通して、内容の解釈を深めている。 〔 書 〕：感想文を書く。自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫している。 c：作品に興味をもち、小説の構成や登場人物の心情の変化をとらえようとしている。元になった古典作品との比較に興味をもっている。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート
	漢文編 漢文に親しむ 〔教材〕 訓読のきまり／格言／再読文字	a：漢文の訓読のきまりについて理解する。漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組んでいる。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	漢文編 現代に生きることば ［教材］ 蛇足	a:「蛇足」という言葉の意味について、考えを深め、理解する。 b〔 読 〕:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c:漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	行動の観察 発表 定期考査	行動の観察 発表 定期考査	行動の観察 振り返りシート ノート
三学期	古文編 物語の広がり 〔教材〕 伊勢物語 芥川／筒井筒	a:言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]:内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に読み取ることができる。 〔 書 〕:感想文を書く。自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫している。 c:言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直そうとしている。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート
	現代文編 ことばと生きる とんかつ （三浦哲郎）	a:文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]:文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 〔 書 〕:感想文を書く。自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫している。 c:作品に興味をもち、場面の様子や人物の心情を想像したり文章表現を味わったりしようとしている。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間